

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	19 - 文芸 - 3
-----------------	-------------

平成19年度配分 研究成果の概要

研究名	SUACOXタイプト能略に関する研究				
配分を受けた特別研究費	文化芸術研究センター長 特別研究費 2910 千円				
研究者氏名 (代表者)	学 部 名 (研究科名)	学 科 名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン	Xタイプ造形	助教授	長島洋一	全体統括、 経理、シミュレーション
共同研究者	文化政策	芸術文化	教授	大山千鶴子	広報
	デザイン	Xタイプ造形	教授	古田祐司	映像
	"	"	助教授	佐藤聖徳	造形
	"	"	"	島田あすか	インタビュー
	"	"	講師	和田和美	"
	"	"	"	"	"
発表の方法 (予定で可)	1 紀 要		号 数	第 号 ( 年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法: Xタイプトカスライバル オープンキャンパス		発表日 (発表 予定日)	平成19年 8月 2 5 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

本学の特長である芸術文化マネジメント、デザイン学部のアートとサイエンス(技術と感性)の結び付いたメディアアートを、将来に向けたSUACの重要な柱の一つとして追求していく。具体的には、文化/芸術/デザインの交流領域である「メディアアート」を軸にして、過去の学長特別研究「メディアアートフェスティバル」等の成果を受けて、教員自身が作家として新作を発表する「メディアアートフェスティバル2007」を開催するとともに、新しく技術造形学科から「メディア造形学科」となった対外的アイデンティティの確立をPRするために、2度のオープンキャンパスでの学科紹介・作品発表を重点的に支援する。

(研究の実施方法等)

[1] メディアアートフェスティバル(MAF2007)の開催

期日 2007年8月2日(木) - 8月5日(日)

\* 中尾浩之氏 上映・講演会

\* ギャラリートーク

\* インスタレーション展示

\* ムービー・シアター

\* SUAC学生 CG/Photoギャラリー

[2] オープンキャンパスでの学科紹介・作品発表

<http://1106.suac.net/news2/20070804/index.html>

<http://1106.suac.net/news2/20071006/index.html>

(得られた成果等)

夏のオープンキャンパス期間にタイアップする、という日程計画を立てたが、後に出て来たデザインワークショップなどに人員を割かれたこと、広報を担当する、と宣言したメンバー(この年度で退職)が十分に仕事をしなかったこと、等の問題点から、過去のメディアアートフェスティバルの中でイベント的にはもっとも失敗したものになった、という反省があった。

しかし展示発表した作品については、文化庁メディア芸術祭・学生CGコンテストに入選したM2・嶋田クンの作品を始めとして、いくつものコンペに入選することになった作品が展示発表される機会となり、メディアアートの発信、という意味では十分な意義があった。

オープンキャンパスでは、新しく「メディア造形学科」となる学科紹介を、作品の実例とともにメディアアートの視点から紹介したことで、多くの優秀な受験生を獲得し、メディア造形学科の知名度の向上に貢献した。

添付

88 MAF2007 2007.5A